栃建協雇用改善大会　優良事業所に表彰状

働き方改革に則り環境改善

県建設業協会（渡邉勇雄会長）は22日、ホテル東日本宇都宮で2018年度建設雇用改善推進大会を開催した。栃木労働局、県、勤労者退職金共済機構県支部、県建設産業団体連合会、全中建栃木との共催。建設関連企業の代表者ら約200人に加え、白兼俊貴栃木労働局長、石井優子県労働政策課長らも臨席。雇用改善に取り組んでいる優良な事業所を表彰するとともに、実業家で人工知能研究者の黒川伊保子氏の講演を受講。働き方改革の趣旨に則りながら、一層の雇用改善に努めることを誓った。

渡邉会長

白兼局長

開会にあたり、渡邉会長は「建設業界は長年の公共投資の低迷により技能・技術者の育成が進まず、就業者の高齢化が顕著で将来を見据えた人材確保・育成が課題となっている。国の働き方改革の趣旨を汲んだ雇用・労働環境の改善をはじめ、人づくり事業による優れた人材の確保・育成、建設現場の安全確保に努め今後とも一層の雇用改善に取り組んでいく」とあいさつした。

白兼局長は「県内の労働災害が増えている中、主要産業では建設業のみが減少傾向にある。安全で健康的な職場環境が若者の受け入れにつながる」と述べた。

石井課長は「建設業を支える技能労働者の確保は喫緊の課題であり、2年後の東京オリンピックに向けてますます深刻化すると思われる。今後とも建設業界全体が発展を遂げていくためには適正な雇用関係の確立や職場の安全確保、勤労者福祉の充実、さらには働き方改革や女性の登用など新たな視点を含めた雇用環境の改善が不可欠」と福田富一知事の祝辞を代読した。

200人が参加した雇用改善推進大会

来賓には岩澤理夫県舗装協会長、田中英治県設備業協会長、高梨道太郎県造園建設業協会長、佐々木宏幸県建築士事務所協会長、堀江育男県測量設計業協会長が駆け付けた。

表彰式では石井課長、渡邉会長が優良事業所の代表者に表彰状を授与。雇用改善への取り組みを称えた。

黒川氏は「職場に生かそう、男女脳の違い～女性活躍推進を支えるために」をテーマに講演。脳科学に基づく男女の感性の違いなどを説明し、職場のコミュニケーション向上方法を伝授した。

受賞事業所に表彰状を贈った

受賞事業所は次の通り。

◇知事表彰
▽岩原産業（宇都宮市）
▽木村土建（佐野市）

◇県建設業協会長表彰
▽丸あ組（宇都宮市）▽翠野建設（鹿沼市）▽松本建設（日光市）▽山中組（小山市）▽鈴木工業（那須町）

◇勤労者退職金共済機構理事長表彰（伝達）
▽保坂建築事務所（小山市）▽桜岡建設（大田原市）

県防草ブロック工業会

規約改正で協力会員を新設

他県工業会との連携を模索

舟田会長

石川顧問

県防草ブロック工業会（舟田昭光会長）は20日、ホテルマイステイズ宇都宮で第2回定期総会を開催した。第1回事業報告・収支決算会計監査報告、第2回事業計画・予算、規約の改定を原案通り承認。規約の改定は会員種別に協力会員を新設し、防草技術を用いたコンクリート2次製品の販売・営業協力者を仲間に迎え入れる。

総会には会員、賛助会員、協力会員のほか、石川重規顧問（防草研究会代表）、アドバイザーの西尾孝佳宇都宮大雑草と里山の科学教育研究センター准教授ら約20人が出席。新規賛助会員の北斗型枠製作所（福島県郡山市）、協力会員の共和コンクリート工業栃木営業所が紹介された。

舟田会長は「設立から1年が過ぎ、2年目を迎えることができた。新たな発想の商品を県内の隅々まで行きわたらせたいという会員各位の熱意が感じられた。人の命や財産の保全をコンクリートの使命。一方では環境問題に効果がある防草製品を普及させたい」とあいさつ。

事業計画では①役員会（年2回）②営業技術部会（毎月）③広告宣伝用パンフレット作成（約500部）④市民公開シンポジウム「人と道路と雑草」～道路にくらす雑草を科学する～ポスターセッション参加（国土交通省宇都宮国道事務所と宇都宮大の共催、今月28日）－を展開する。

会場からは他県のブロック工業会との情報交換について提案があった。石川顧問は栃木、茨城、群馬、東海、四国、沖縄に6ブロックがあり、新たに北海道と山口で立ち上がる予定。来年は8ブロック体制になり、これらの連携方法を模索すると回答した。

2年目に突入した県防草ブロック工業会

研修会では石川顧問が「オシャレと道路は足もとから」、西尾准教授が「予防VS対処：雑草との付き合い方を考える」と題してそれぞれ講演した。石川顧問は植物の特性、西尾准教授は雑草の定義や増えた雑草の対処法、新しい街づくりへの期待感を語った。

防草ブロックは、コンクリート2次製品の側面形状を一部変えることで高い防草効果を発揮。芝が上に、根が下に向かって成長する植物の特性に着目。ブロック側面にV字型の切り込みを下向きに設け、目地部分が植物の成長方向を反対にする構造。

植物が成長できなくなる性質を利用し、目地から草が生えることを抑制する。除草人件費や除草剤費用がかからず、環境への負荷が低減。道路を利用する運転者の視界が確保され、安全性や良好な景観の保持に貢献する。

建設技術センター

「おらがまち盛りあげ隊」田川・旧田川周辺を清掃

とちぎ建設技術センター（印南洋之理事長）の職員で組織する「おらがまち盛りあげ隊」は17日、田川・旧田川周辺の環境美化ボランティアを実施。職員39人とOB職員7人が参加し、河川敷の清掃に汗を流した。

精力的に清掃作業を展開

田川周辺は、競輪場通りから旧田川合流部までの右岸道路と河川敷を清掃。旧田川は河内庁舎北側から田川合流部までの河川敷を清掃した。

職員はオレンジ色のジャンパーとキャップを着用。トングやごみ袋を手に、河川の中まで入り込んで徹底的にごみを拾い集めた。回収したごみは可燃ごみ26袋、不燃ごみ7袋に達した。

県舗装協会

宇都宮土木事務所と意見交換

舗装事業の課題を協議

県舗装協会（岩澤理夫会長）は19日、宇都宮市の県河内庁舎で宇都宮土木事務所との意見交換会を開催した。協会から荒井学総務委員長、岩見武安全管理委員長、高野陽一技術委員長ら8人、宇都宮土木から中島堯男県土整備部参事兼所長、佐野一道次長兼企画調査部長ら6人が出席。舗装事業を取り巻く課題について意見を交換した。

はじめに宇都宮土木が現在までの発注状況や今後の発注見込み、来年度以降の大規模事業（一土木会般）、働き方改革関連の制度見直しの取組状況などの情報を提供。

その後、協会側が①高い品質と出来形を可能とする発注規模②元請け業者の施工管理③現場環境による施工条件④舗装修繕工事の評価点⑤舗装の日当たり面積や限界施工量の設計・積算⑥発注前の関係機関の協議調整－の6議題を提案。

舗装事業の円滑な発注と高品質の施工に向けて、発注者・受注者の立場からの見解を語り合った。

官民から14人が参加した

高力ボルト

需給が全国的に逼迫

建設現場で高力ボルトの需給が逼迫している。国土交通省が10月に実施した緊急調査の結果、納期は通常と比べて長期化していることが確認された。3カ月後も同様の傾向が予想され、工期に影響を及ぼす可能性が出ている。

民間発注を含めて今後は余裕を持った工事発注が必要となるため、国交省では注意喚起の意味を込めて調査結果を公表した。

調査回答社は305社で、うち高力ボルト取り扱い社は需要側・供給側合計で159社。高力ボルト使用比率は建築で33％、土木で34％。

需給逼迫の要因は「再開発を含めた建築需要が旺盛」「ボルトメーカーへの材料供給が追いついていない」などの声が出ている。

工事への影響は「納期は通常時の約1・5カ月が、平均で約6カ月まで長期化している」との指摘もあり、回答した会社の8割以上で工期に影響があると答えた。

ただし工期に影響が出る場合は受発注者間の工期変更を含めた調整、必要なボルトの早期発注により対応している事例もある。

国交省では整備局ごとに設置している建設資材対策の地方連絡会を通じて毎月の状況を確認していく意向だ。

〔高力ボルト〕建物の鋼材などの接合に使われる高い強度を持つボルト。国内では鉄鋼系のボルトメーカーなど3社が大きなシェアを占めている。

電設協

働き方改革で実態調査へ

日本電設工業協会（電設協）は22日の記者会見で、働き方改革の実態調査結果を年度内に取りまとめる考えを示した。

会員企業の現場では長時間労働の是正や週休2日の確保など働き方改革の取り組みが進む半面、工程遅延などによりしわ寄せが来ている実態もあるという。

このため働き方改革の導入動向を把握し、さらに現場の意見を吸い上げて必要な対応を検討していく方針。

一方、第67回電設工業展「JECA FAIR2019」の実施計画が決まった。来年5月22日～24日の3日間にわたり、東京ビッグサイトで開催する。出展者の募集が始まり、11月21日現在で出展者数は50社・134コマとなっている。

空調・給排水・衛生設備工事
土木・舗装・上下水道工事　設計施工
㊐ 岩原産業株式会社
本社　宇都宮市平出工業団地六番十二
電話〇二八（八六六）二一八四四一代
FAX〇二八（八六六）二三一〇九一

生コンクリート部　製造販売
YAHATA 株式会社 八幡
宇都宮市平出工業団地45－2
電話（028）661－0711（代表）
FAX（028）661－0399
栃木県木材リサイクルセンター
産業廃棄物処理業許可1042号
一般廃棄物処分業許可197号
電話（028）664－0855（代表）

安心・安全・機動力
産業廃棄物処理
㈱平成リサイクルセンター
（壬生工場）
下都賀郡壬生町藤井1070－2
TEL 0282－81－0621
FAX 0282－81－0622
※扱い品目（8品目）
木くず、紙くず、繊維くず
廃プラスチック類、金属くず
ガラス・コンクリート・陶磁器くず
ゴムくず、がれき類

創業昭和42年（1967年）
信用と施工実績を誇る
宇都宮サッシュ工業株式会社
代表取締役　鈴木　仁
〒321-0901 宇都宮市平出町3735－1
TEL 028-661-0249㈹
FAX 028-662-6571

産業用強制換気装置
カマクラ
ルーフファン
（株）鎌倉製作所代理店
藤井産業株式会社
設備システム部
宇都宮市平出工業団地41番3
TEL（028）662－6066㈹
FAX（028）661－9587

RENTAL&SELLING
宇建はレンタルで快適なまちづくりをサポートします。
株式会社 宇建
UKEN
本社/〒329-1102 栃木県宇都宮市白沢町1825-2
TEL:(028)673-6185 FAX:(028)673-1677
http://www.uken.co.jp/
うけまる君　宇美ちゃん
宇都宮営業所 ☎(028)645-5457㈹
宇都宮北営業所 ☎(028)673-6182㈹
宇都宮南営業所 ☎(028)656-4215㈹
日光営業所 ☎(0288)22-3411㈹
那須営業所 ☎(0287)36-1544㈹
真岡営業所 ☎(0285)84-5131㈹
烏山営業所 ☎(0287)84-3811㈹
矢板営業所 ☎(0287)48-3220㈹
芳賀営業所 ☎(028)601-1535㈹
下野営業所 ☎(0285)37-8141㈹
両毛営業所 ☎(0283)85-8777㈹
産業機器営業所 ☎(028)671-2117㈹
サテライト石橋 ☎(0285)37-7016㈹
結城営業所 ☎(0296)20-9111㈹
古河営業所 ☎(0280)23-3180㈹
MIWa炭センター ☎(028)671-2117㈹
機材センター ☎(028)673-8388㈹
車輌センター U-Tec ☎(028)612-7721㈹